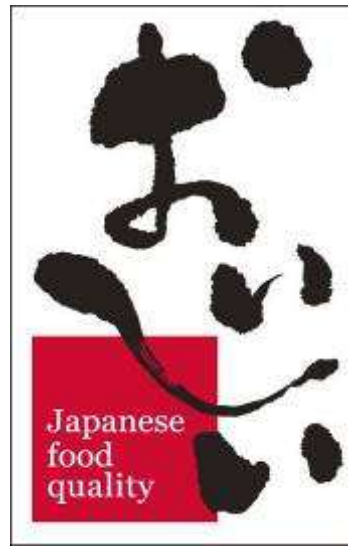


平成25年農林水産物・食品輸出実績

(品目別)

食料産業局輸出促進グループ



平成 26 年 3 月

農林水産省



品目別内訳	2		
加工食品の内訳	3	野菜・果実等の内訳	17
醤油	4	りんご	18
みそ	5	なし	19
アルコール飲料	6	うんしゅうみかん	20
日本酒(清酒)	7	ながいも等	21
清涼飲料水	8	いちご	22
菓子(米菓を除く)	9		
米菓	10	その他農産物の内訳	23
		植木等	24
畜産物の内訳	11	切花	25
牛肉	12	緑茶	26
粉乳	13		
牛乳	14	林産物の内訳	27
		製材加工材	28
穀物等の内訳	15	丸太	29
米(援助用除く)	16	乾しいたけ	30
		水産物(水産調製品以外)の内訳	31
		ホタテ貝	32
		真珠(天然・養殖)	33
		さば	34
		ぶり	35
		いか	36
		さけ・ます	37
		かつお類	38
		すけとうだら	39
		錦鯉等観賞用魚	40
		水産調製品の内訳	41
		乾燥なまこ	42
		貝柱調製品	43
		あわび(調製)	44

【利用上の注意】

- 本資料は、農林水産物・食品の輸出に取り組む者や、これから取り組もうと考えている者の参考としていただくため、財務省が公表している「貿易統計」から、我が国の農林水産物・食品の輸出実績のうち、主な品目について取りまとめたものです。
- 本資料の作成に当たっては、誤りのないよう、細心の注意を払っておりますが、万が一、誤りがあった場合でも、農林水産省は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



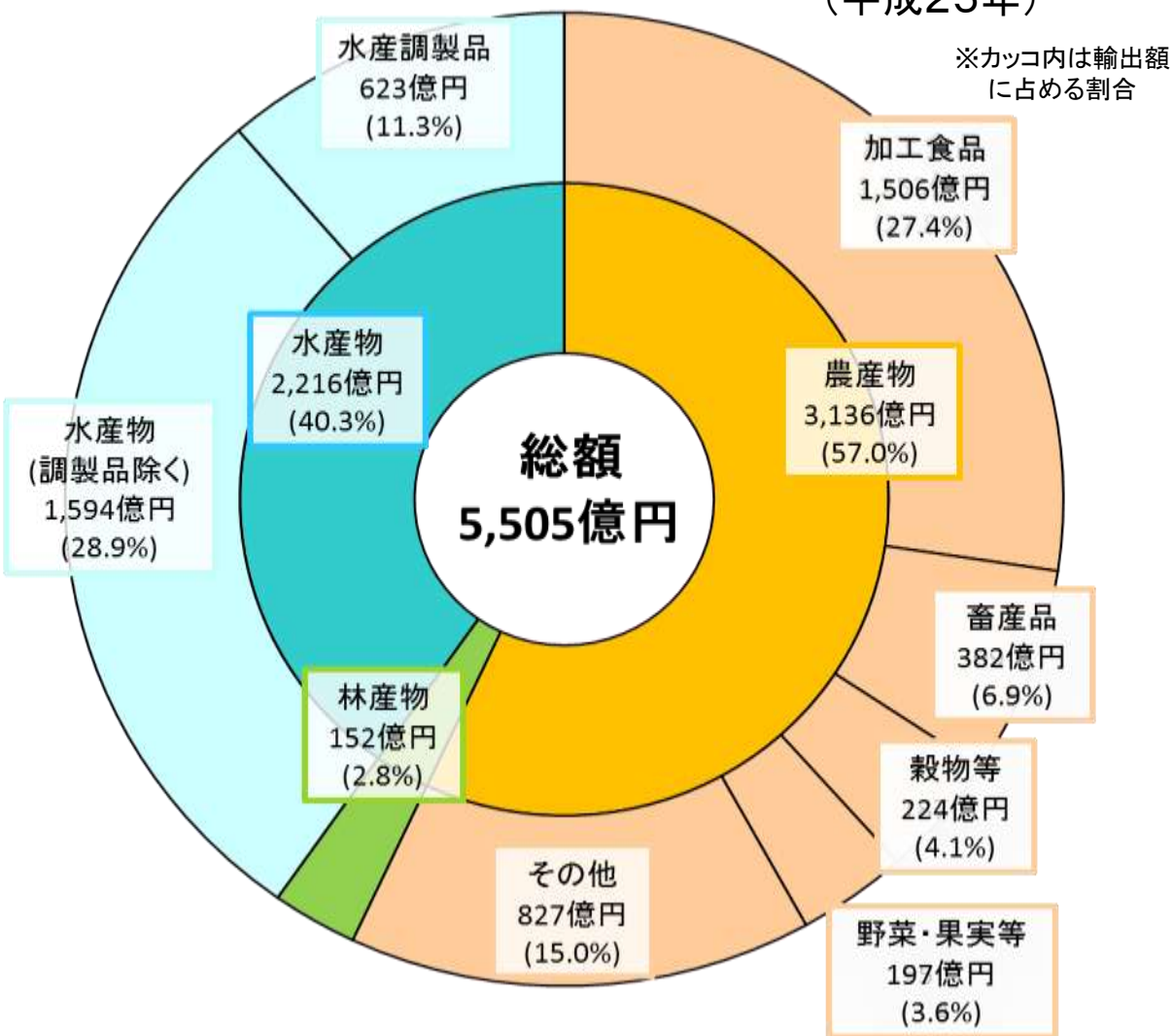
農林水産物・食品の輸出額の品目別内訳

MAFF

- 農林水産物・食品の輸出額を品目別で見ると、水産物が約4割、加工食品が約3割を占める。

(平成25年)

(単位: 億円)



	平成24年	平成25年	増減率
農林水産物	4,497	5,505	22.4%
農産物	2,680	3,136	17.0%
加工食品	1,305	1,506	15.4%
畜産品	295	382	29.4%
穀物等	196	224	14.3%
野菜・果実等	133	197	48.0%
その他農産物	751	827	10.2%
林産物	118	152	28.7%
水産物	1,698	2,216	30.5%
水産物 (調製品除く)	1,196	1,594	33.2%
水産調製品	502	623	24.1%
総輸出額	637,476	697,742	9.5%

資料: 財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

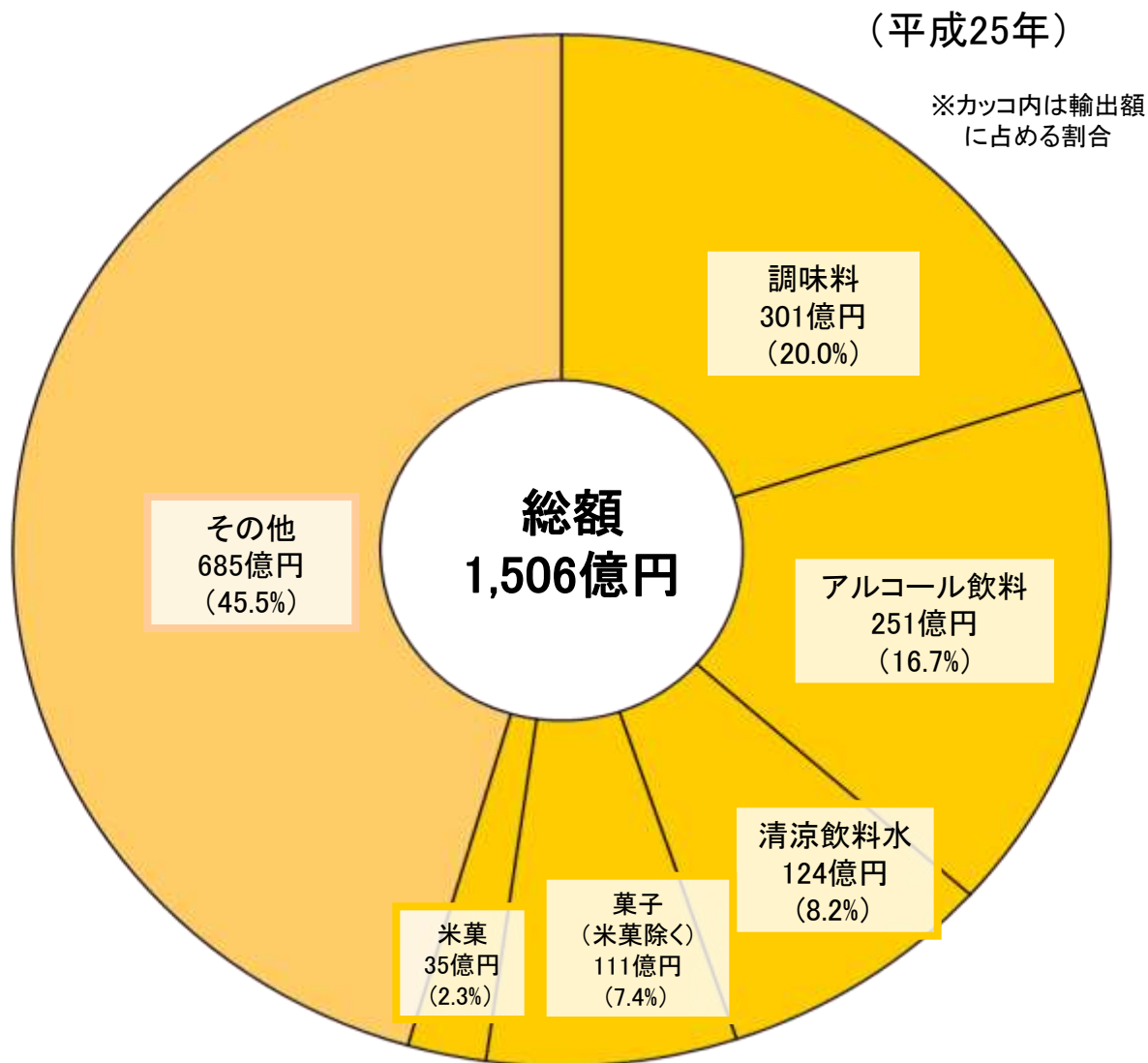


加工食品の品目別内訳

MAFF

- 加工食品の品目別内訳をみると、調味料、アルコール飲料、清涼飲料水、菓子などの割合が多い。

(単位:億円)



品目名	平成24年	平成25年	増減率
調味料	269.6	300.5	11.4%
ソース混合調味料	195.2	213.8	9.6%
醤油	36.7	42.7	16.4%
みそ	20.7	24.3	17.6%
アルコール飲料	206.6	251.0	21.5%
清酒	89.5	105.2	17.6%
ビール	44.8	54.5	21.8%
焼酎	17.3	17.1	▲1.4%
ぶどう酒	1.5	1.2	▲19.2%
清涼飲料水	120.7	123.5	2.3%
菓子 (米菓除く)	94.1	111.0	18.0%
チョコレート菓子	49.2	54.7	11.1%
キャンデー類	29.8	39.7	33.5%
ビスケット	8.0	9.1	14.2%
チューインガム	7.1	7.5	5.4%
スープ プロス	46.9	55.0	17.2%
米菓	29.0	34.9	20.2%
デキストリン等	22.1	24.4	10.1%
ペプトン等	19.8	22.6	14.0%
酵母	14.1	14.3	1.3%
油脂・混合物調製品	12.6	12.7	1.0%
レシチン等	12.2	17.6	44.3%
ベーカリー製品製造用混合物	7.8	9.3	19.0%
アイスクリーム等氷菓	6.8	8.6	26.6%
コーンスターチ	0.8	1.0	14.7%
その他	441.5	519.6	17.7%
加工食品計	1,304.7	1,505.8	15.4%

※ ソース混合調味料・・・ソース、たれ、カレー調製品等。
デキストリン・・・タピオカ等のでん粉を分解したもので、健康食品の原料等に使用。
ペプトン・・・牛乳や大豆のたんぱく質を分解したもので、食品添加物、培地等に使用。
酵母・・・ビール酵母等で、健康食品や飼料の原料に使用。
油脂・混合物調製品・・・マーガリン等。
レシチン・・・卵黄や大豆由来の脂質で、食品添加物、健康食品の原料等に使用。
ベーカリー製品製造用混合物・・・冷凍ピザ、たこ焼き、お好み焼き等。

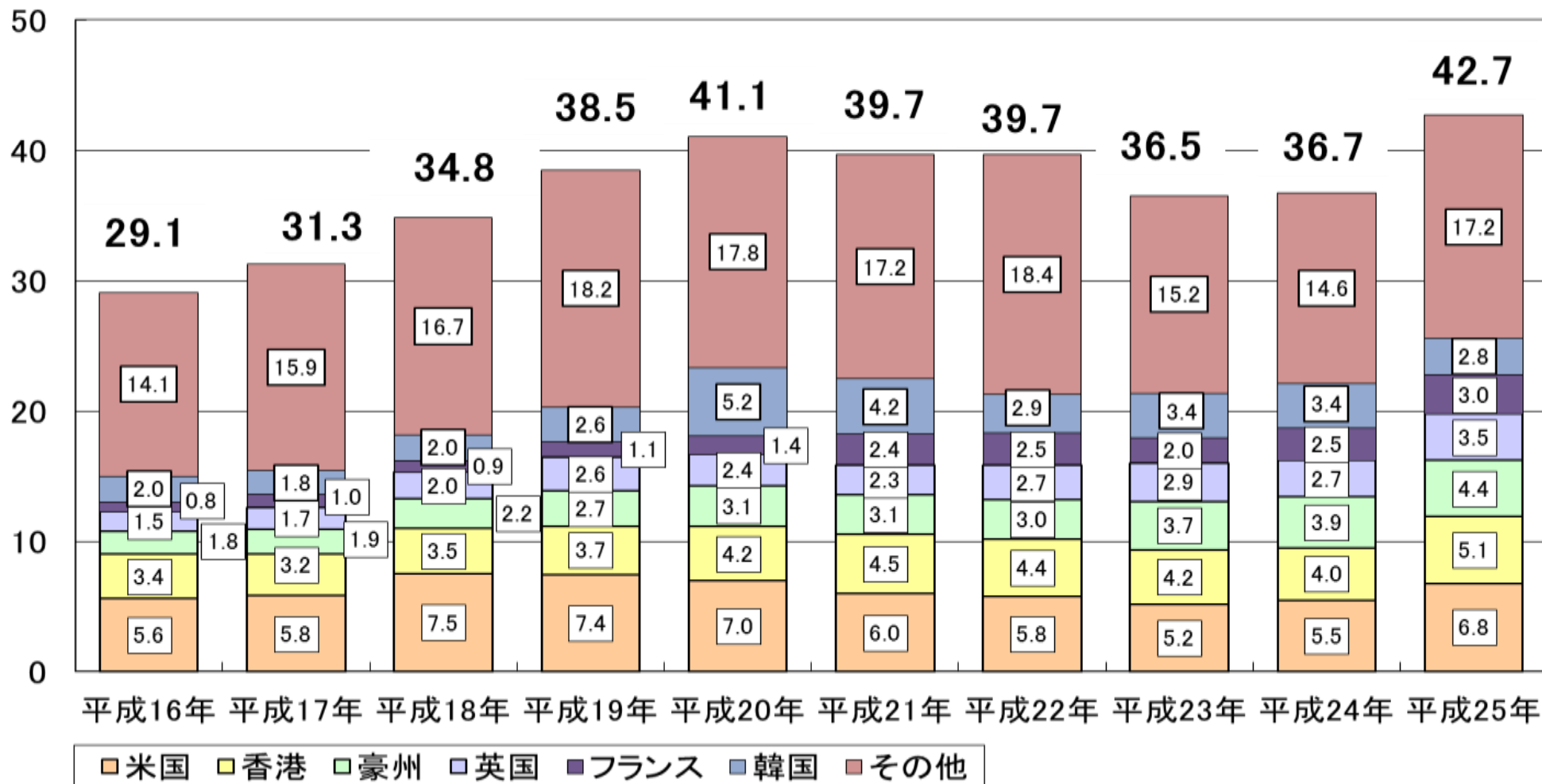


醤油の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 日本の調味料の代名詞として、多くの国・地域に向けて醤油が輸出されている。

(億円)

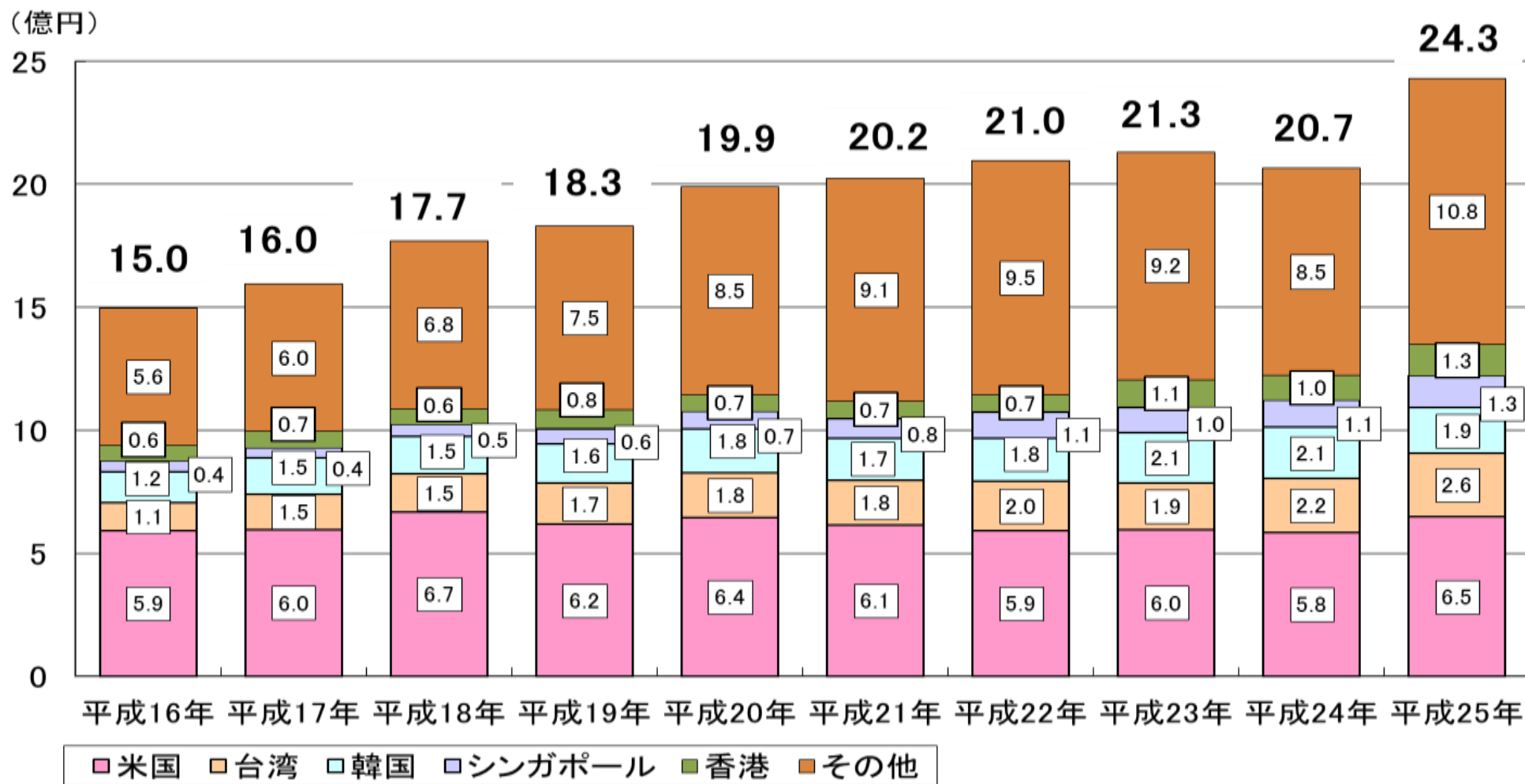




みその輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- みその輸出額は、増加傾向。
- 日本食レストランの普及に伴い、多くの国・地域に向けてみそが輸出され、「その他」の国への輸出が伸びている。

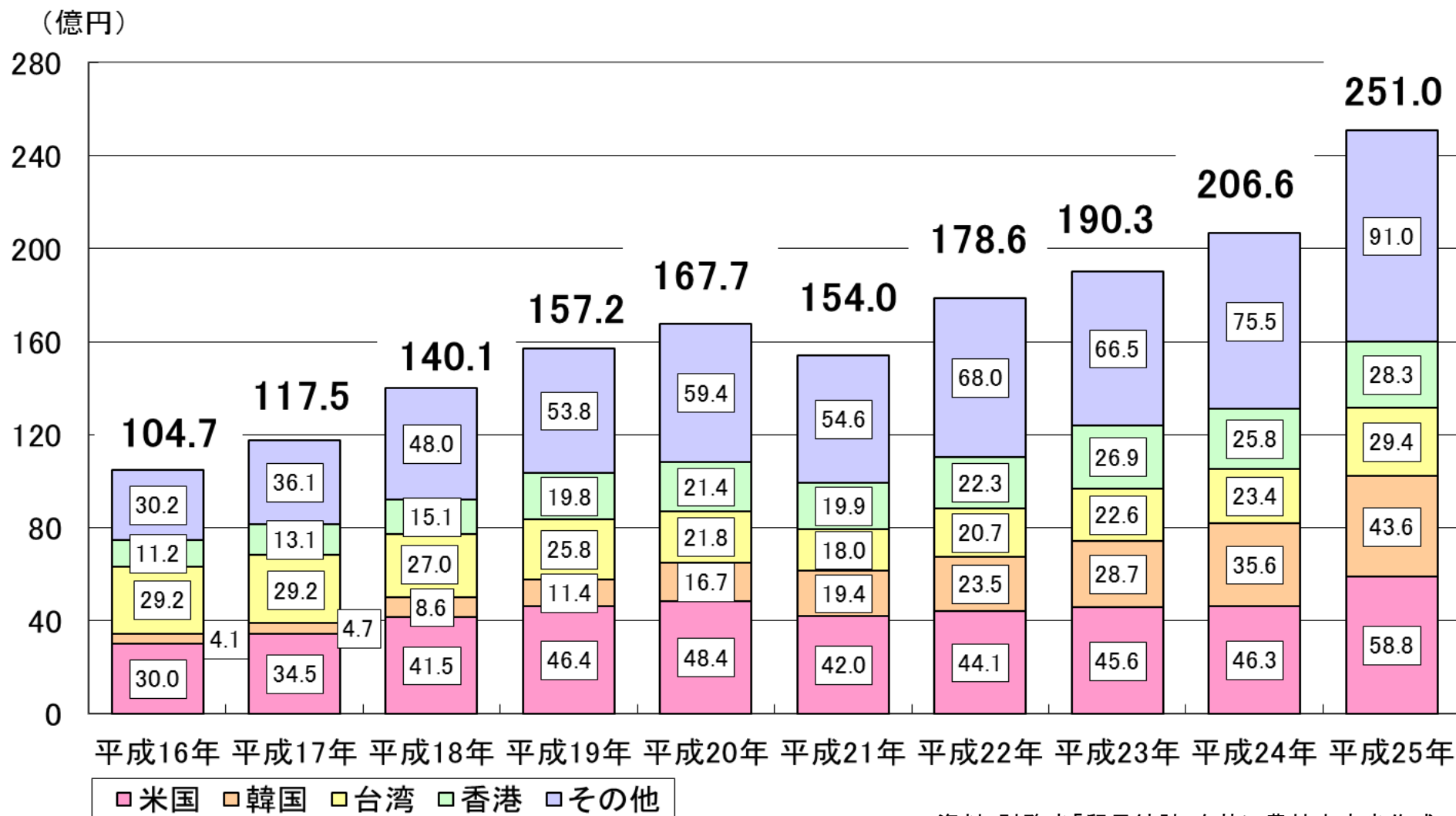




アルコール飲料の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- アルコール飲料の輸出額は、増加傾向。
- 内訳をみると、清酒(105億円)が最も多く、次いでビール(55億円)、焼酎(17億円)。

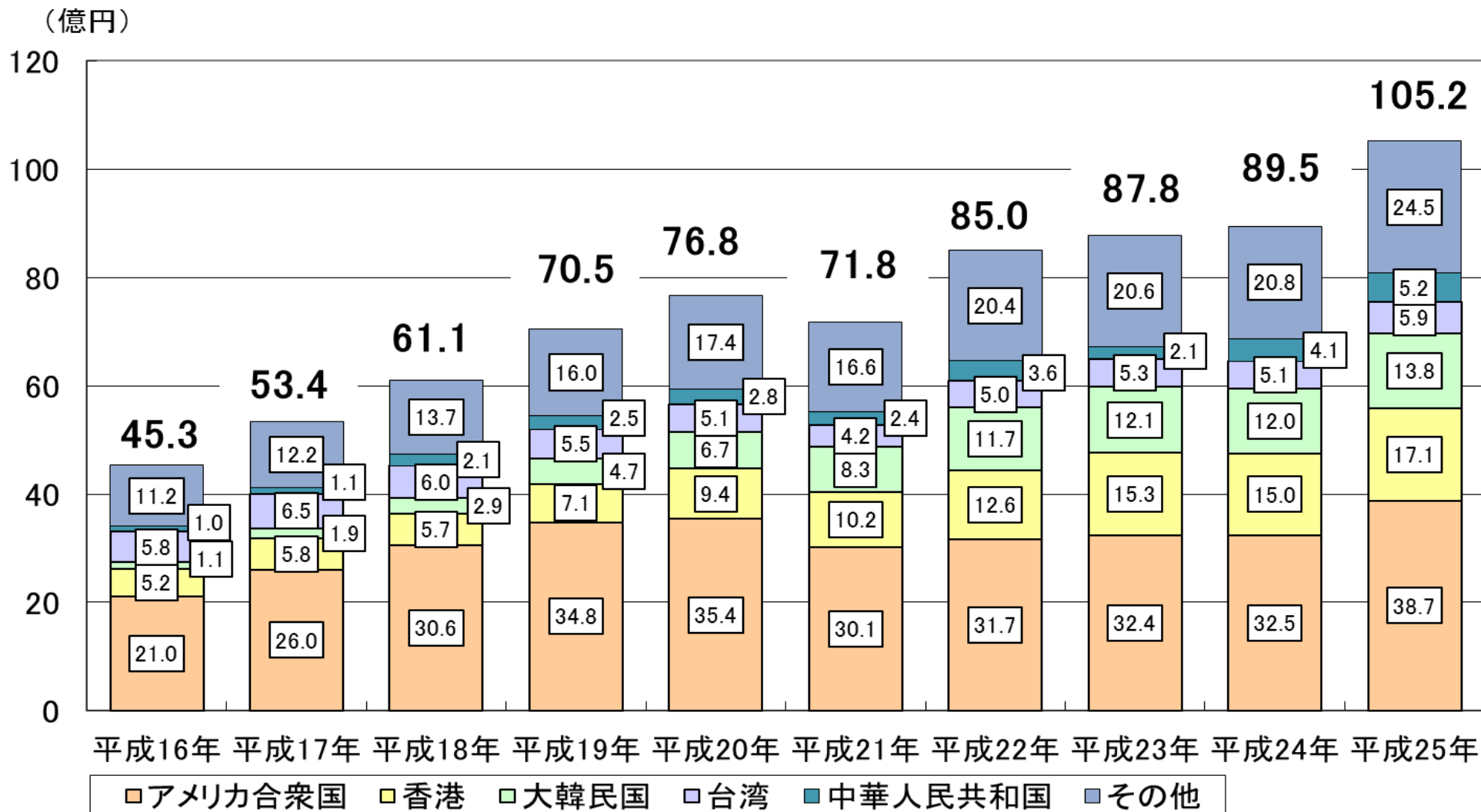




日本酒(清酒)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 日本酒(清酒)の輸出額は、日本食ブームを背景に増加傾向。去年、初めて100億円を突破。
- 平成25年の輸出額の内訳をみると、米国、香港、韓国、中国で全体の約8割を占める。



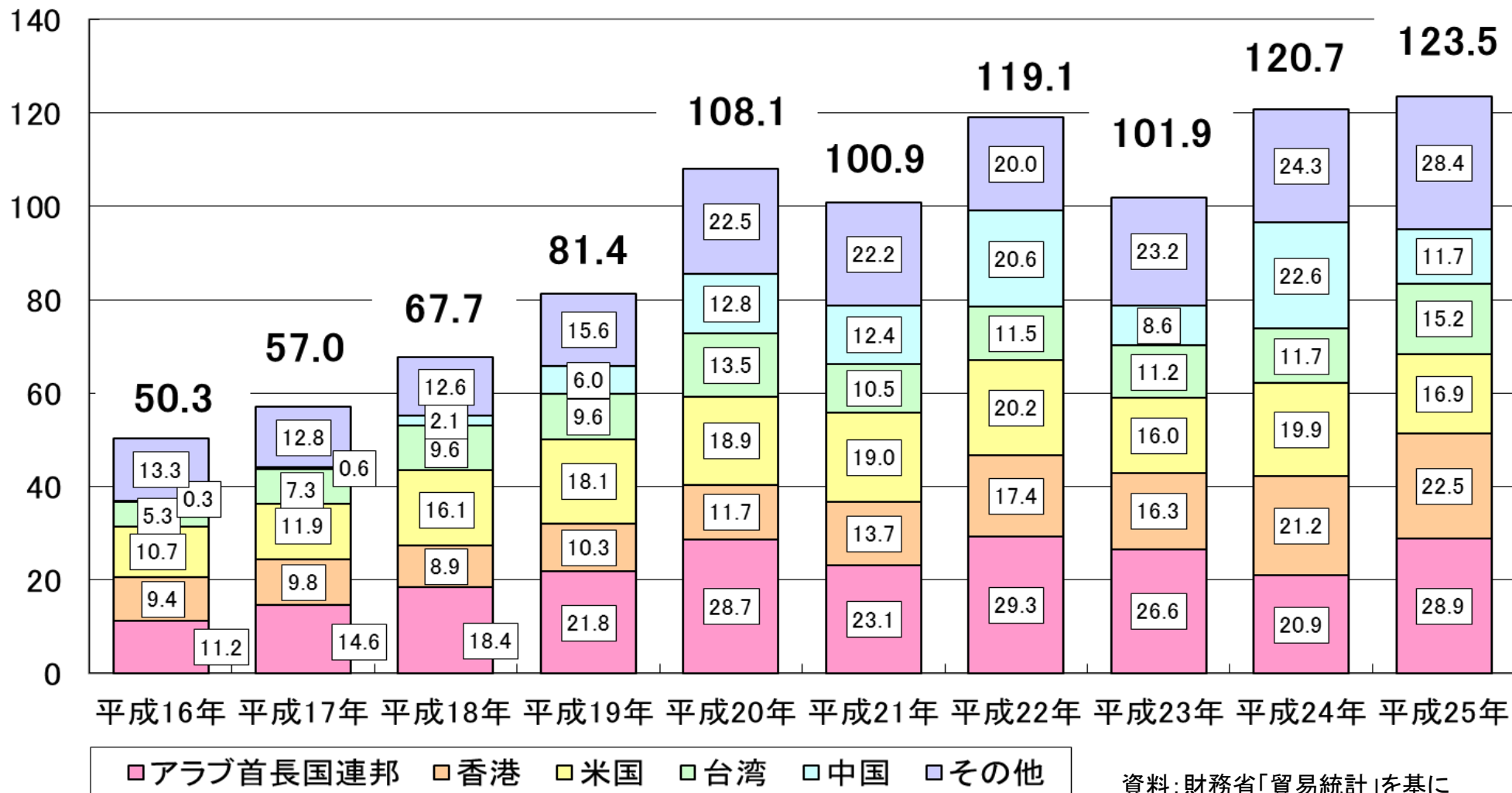


清涼飲料水の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 清涼飲料水の輸出額は、アラブ首長国連邦を筆頭に増加傾向。

(億円)



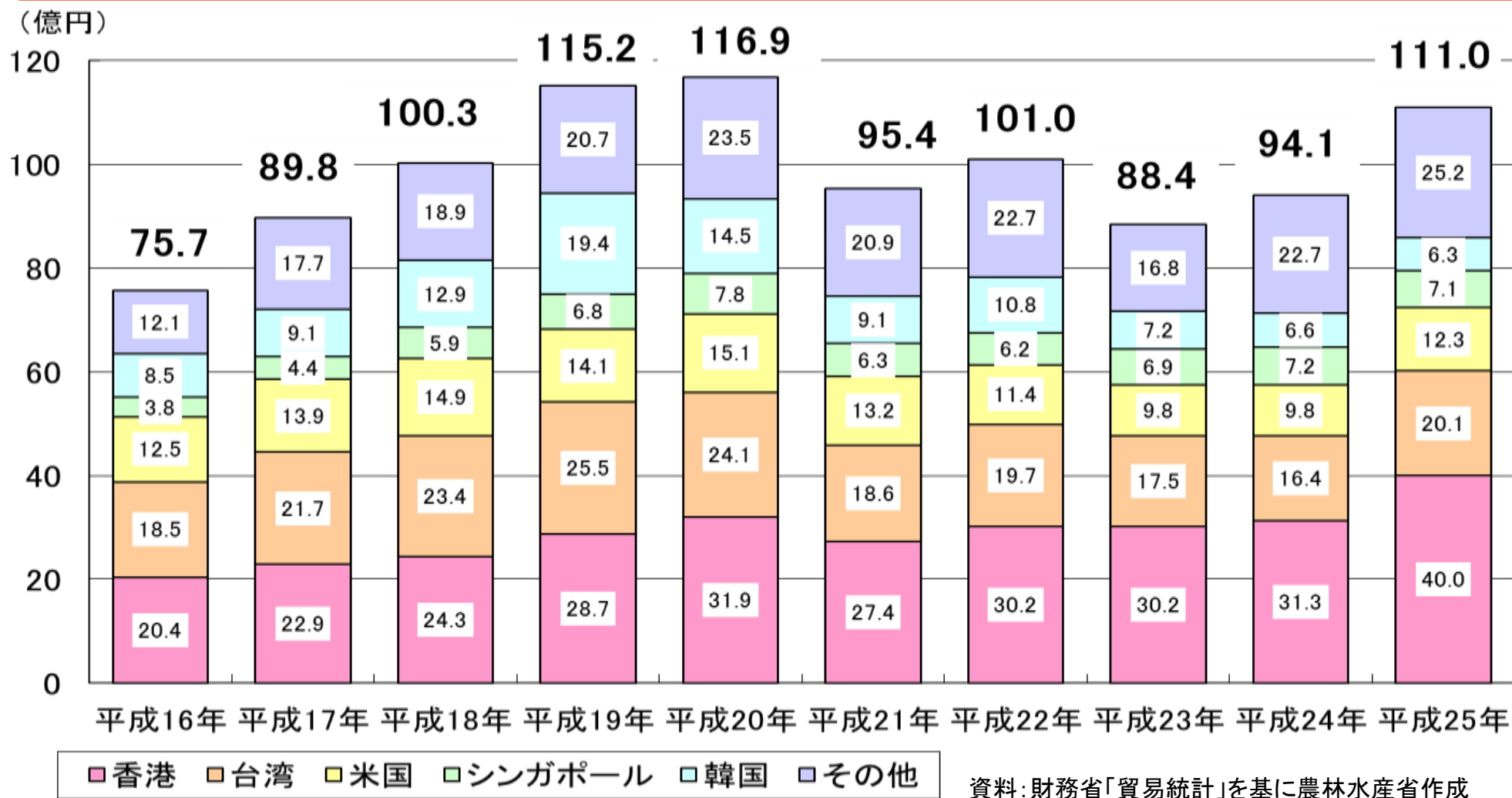
資料:財務省「貿易統計」を基に
農林水産省作成



菓子(米菓除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 日本産菓子は、高品質なものと認識されており、香港を中心に輸出が回復。



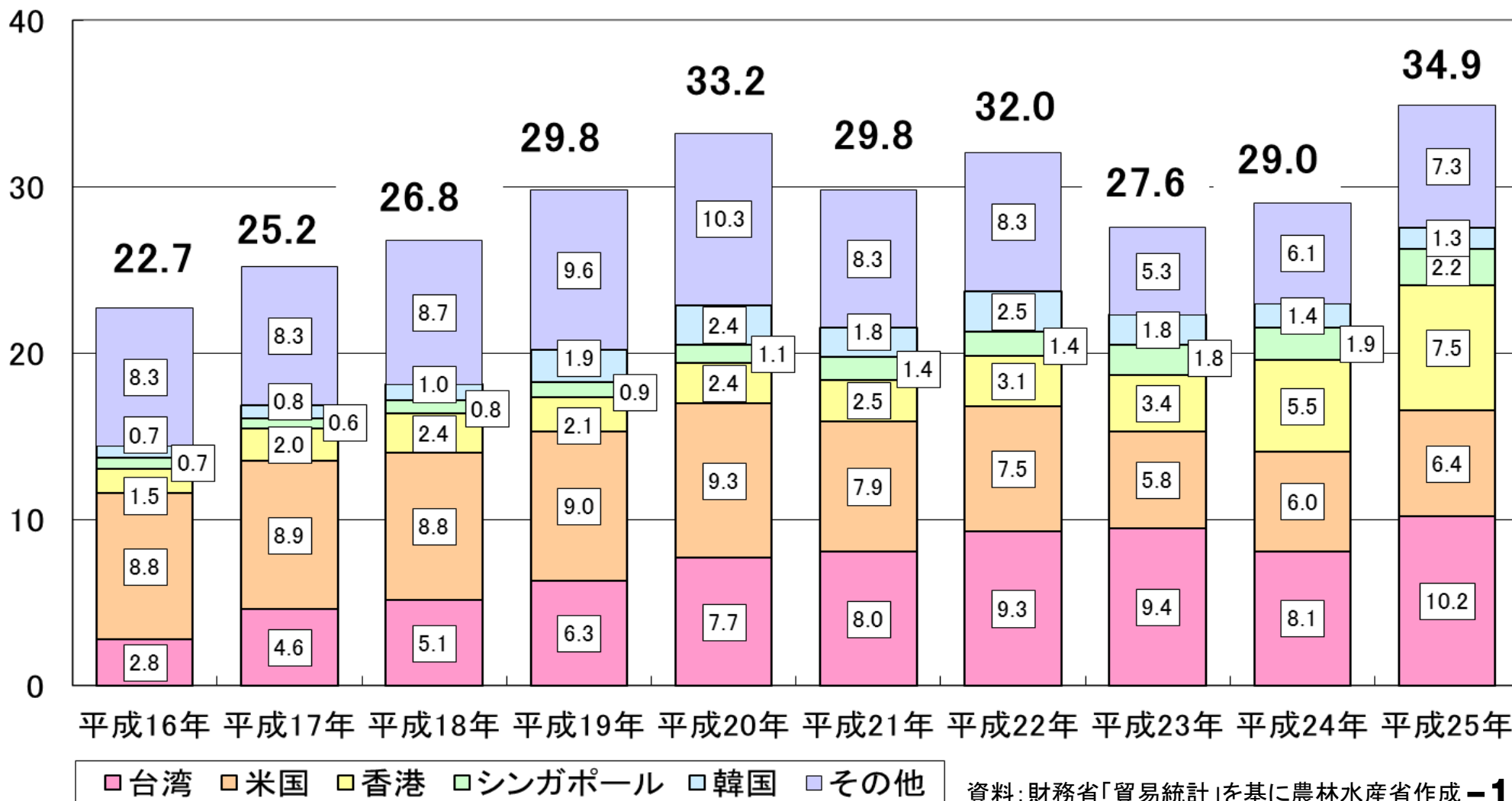


米菓の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 米菓の輸出額は、増加傾向。
- 米国向けが減少する一方、香港向けの輸出額が堅調に増加。

(億円)

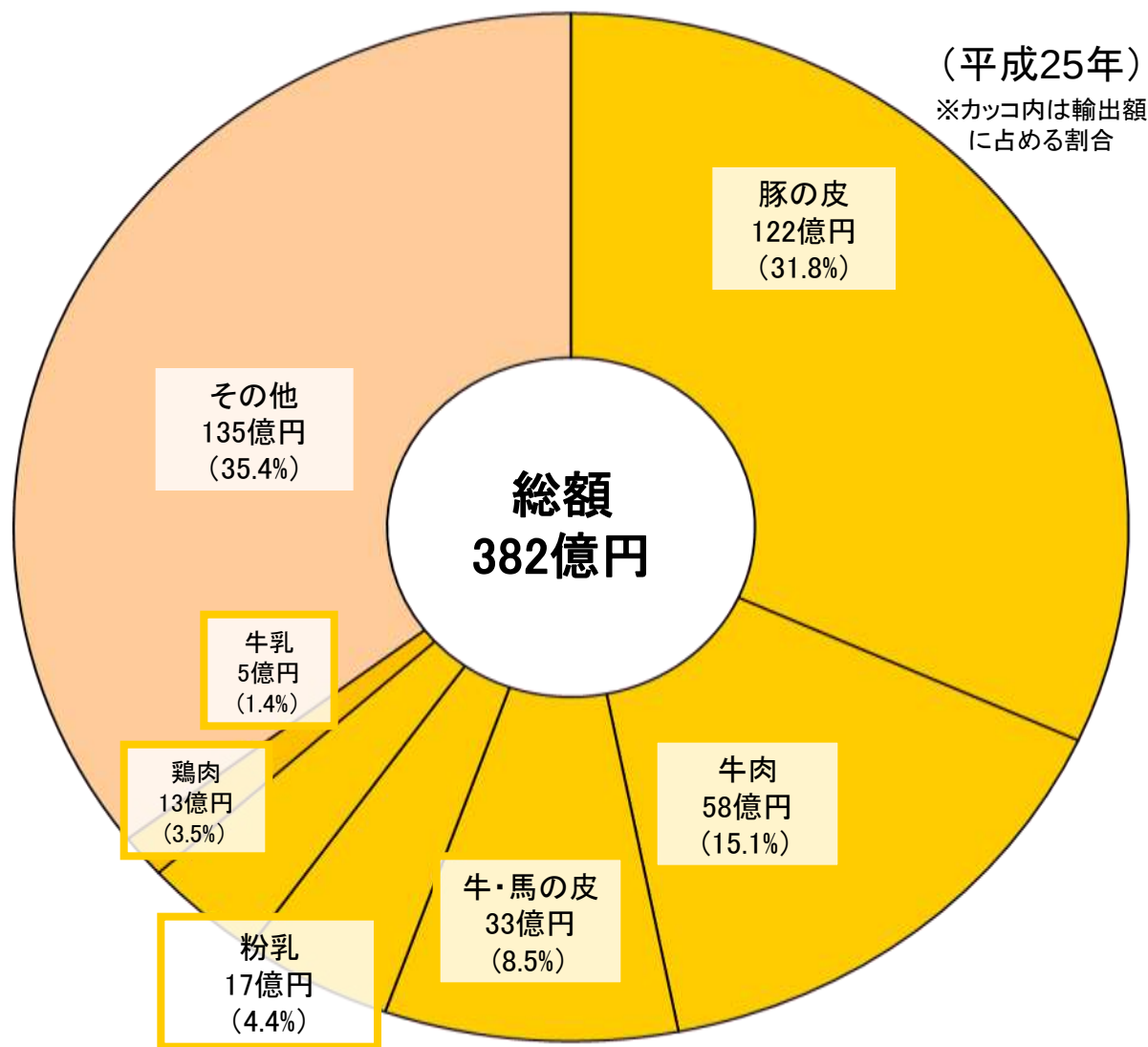




畜産品の品目別内訳

MAFF

●畜産品の品目別内訳をみると、豚の皮の輸出額が多いが、牛肉の輸出も増加傾向。



(単位: 億円)

品目名	平成24年	平成25年	増減率
豚の皮	97.3	121.5	24.8%
牛肉	50.6	57.7	14.0%
牛・馬の皮	23.0	32.5	41.0%
ゼラチン	19.6	30.6	56.3%
ラノリン	18.0	24.3	34.9%
粉乳	11.6	16.7	43.8%
鶏肉	9.9	13.3	33.6%
牛乳	4.3	5.3	22.9%
チーズ	3.0	4.7	54.8%
鶏卵	2.0	3.3	65.3%
豚肉	2.0	2.6	30.6%
羊毛	0.8	0.6	▲27.4%
その他	52.9	69.0	30.5%
畜産品計	295.2	382.0	29.4%

※ ゼラチン…牛や豚の皮や骨から抽出されるたんぱく質で、ゼリー等に使用。
ラノリン…羊毛製品の副産物として生産される油脂で、化粧品等に使用。

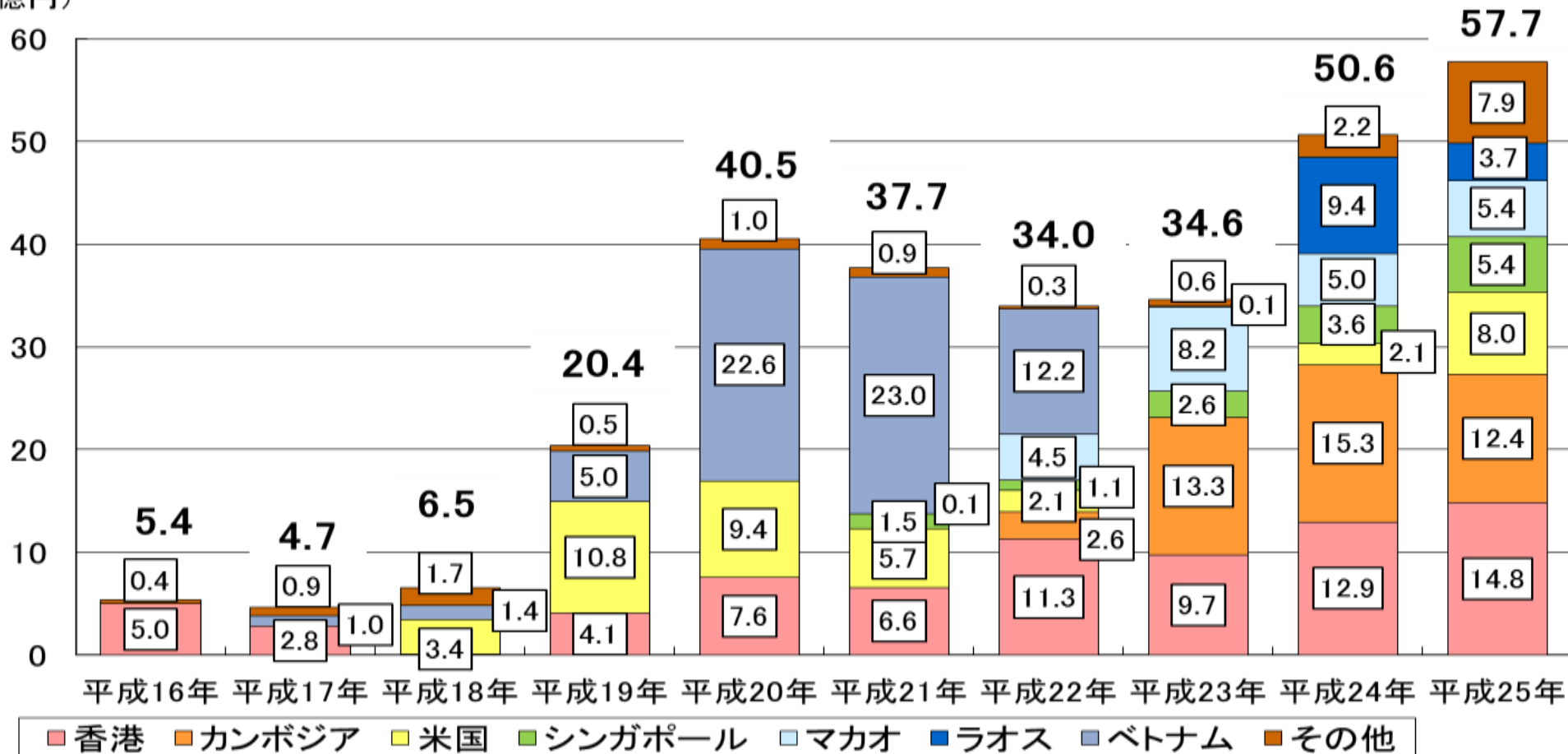


牛肉の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 平成20年から23年の輸出は、口蹄疫発生、原発事故等の影響によって輸出が一時停止したことに加え、円高の影響もあり、横ばいで推移。
- 平成24年は8月に対米輸出が再開し、好調に推移したことから過去最高を大きく更新。平成25年はアジア地域での和牛需要が一段落したものの、対米輸出の伸びもあり、全体としては微増となった。

(億円)



数字は、くず肉を除く。資料：財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

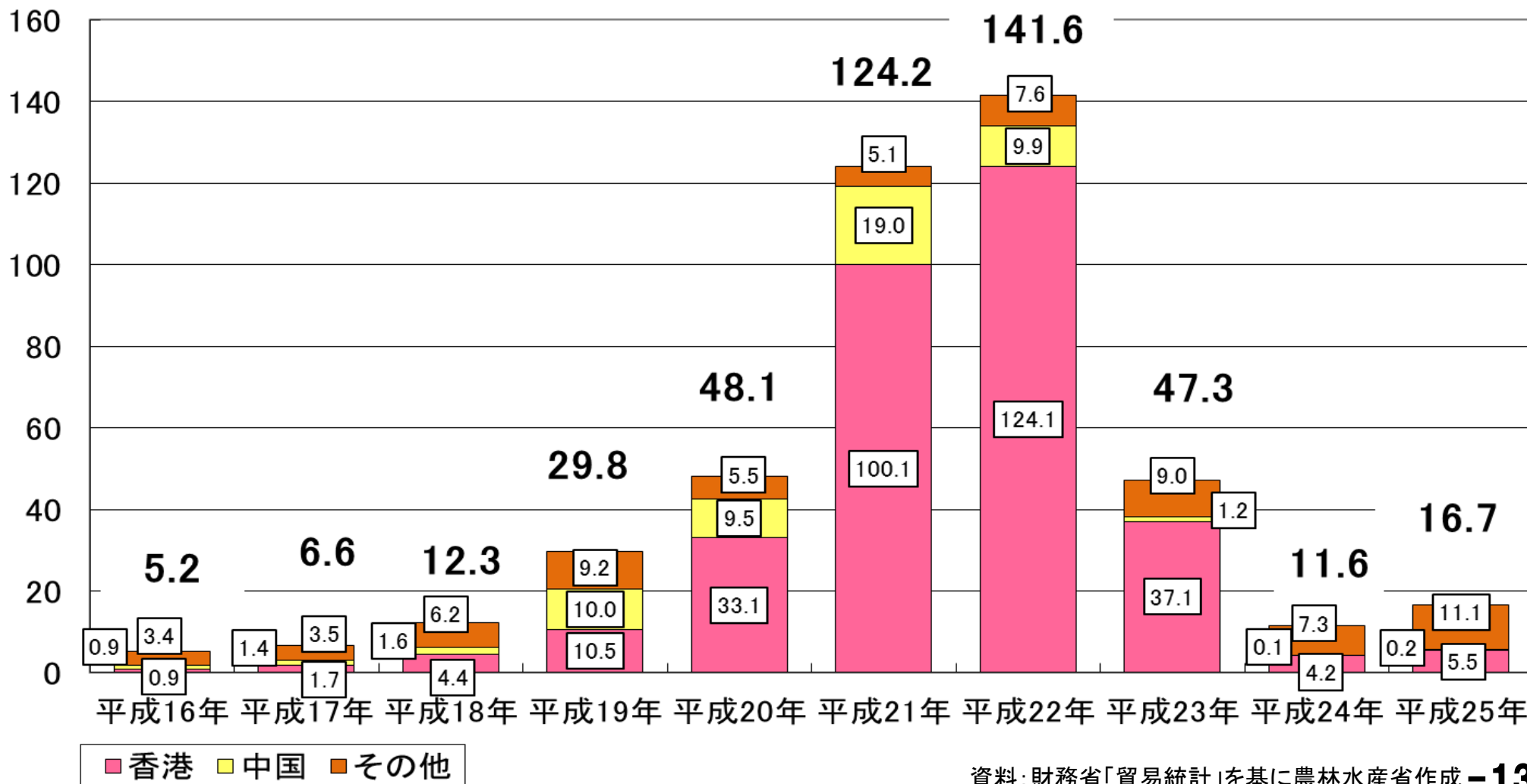


粉乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産粉乳に対する需要増により輸出額が増加したが、東電福島第一原発事故等の影響により、輸出額は大きく減少。

(億円)

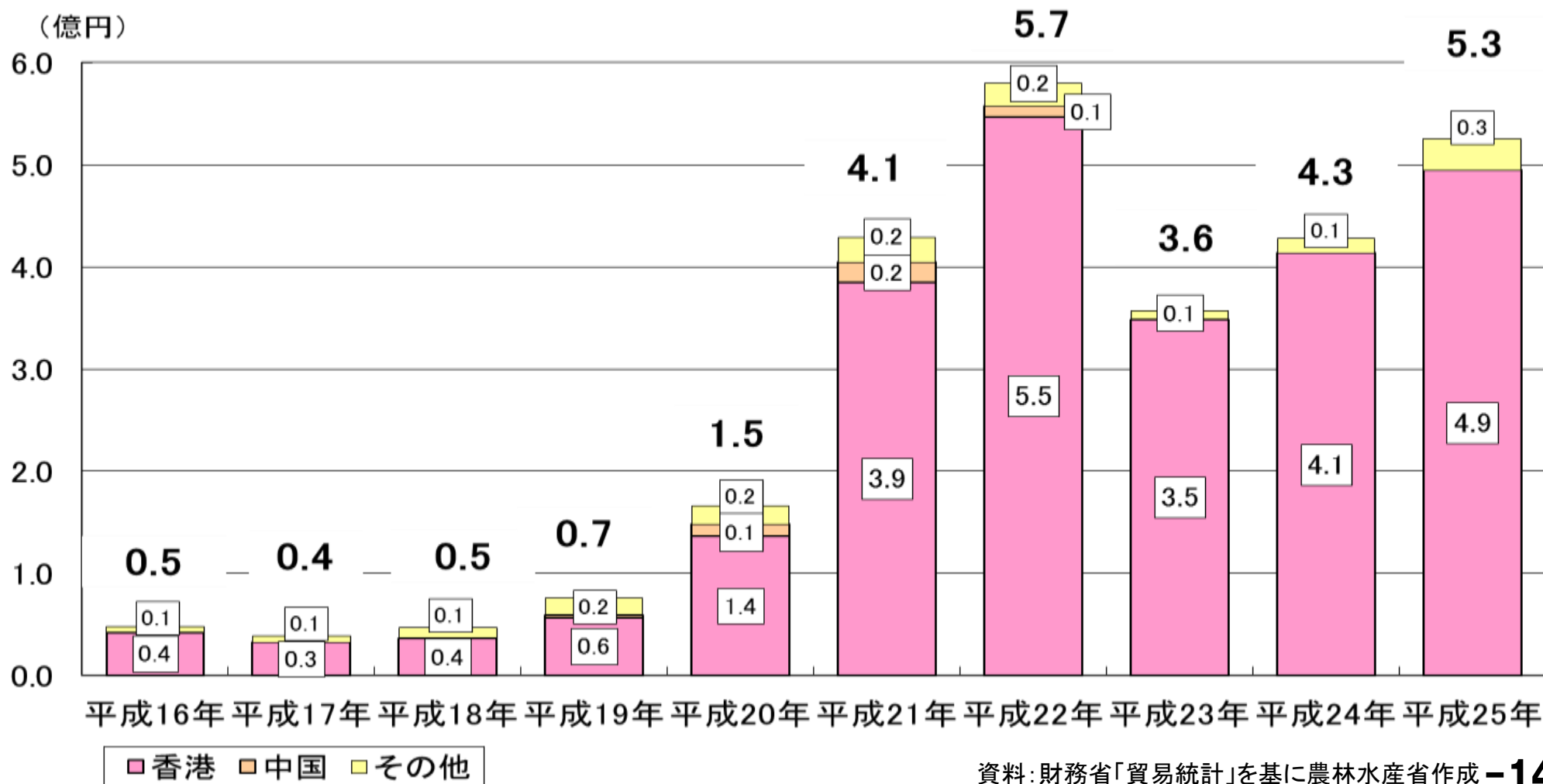




牛乳の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 中国におけるメラミン混入事案(平成20年)を背景として、香港における日本産牛乳に対する需要増により、輸出額が増加。その後、東電福島第一原発事故等の影響により、輸出額は平成23年に大きく減少し、未だ震災前の水準には回復していない。

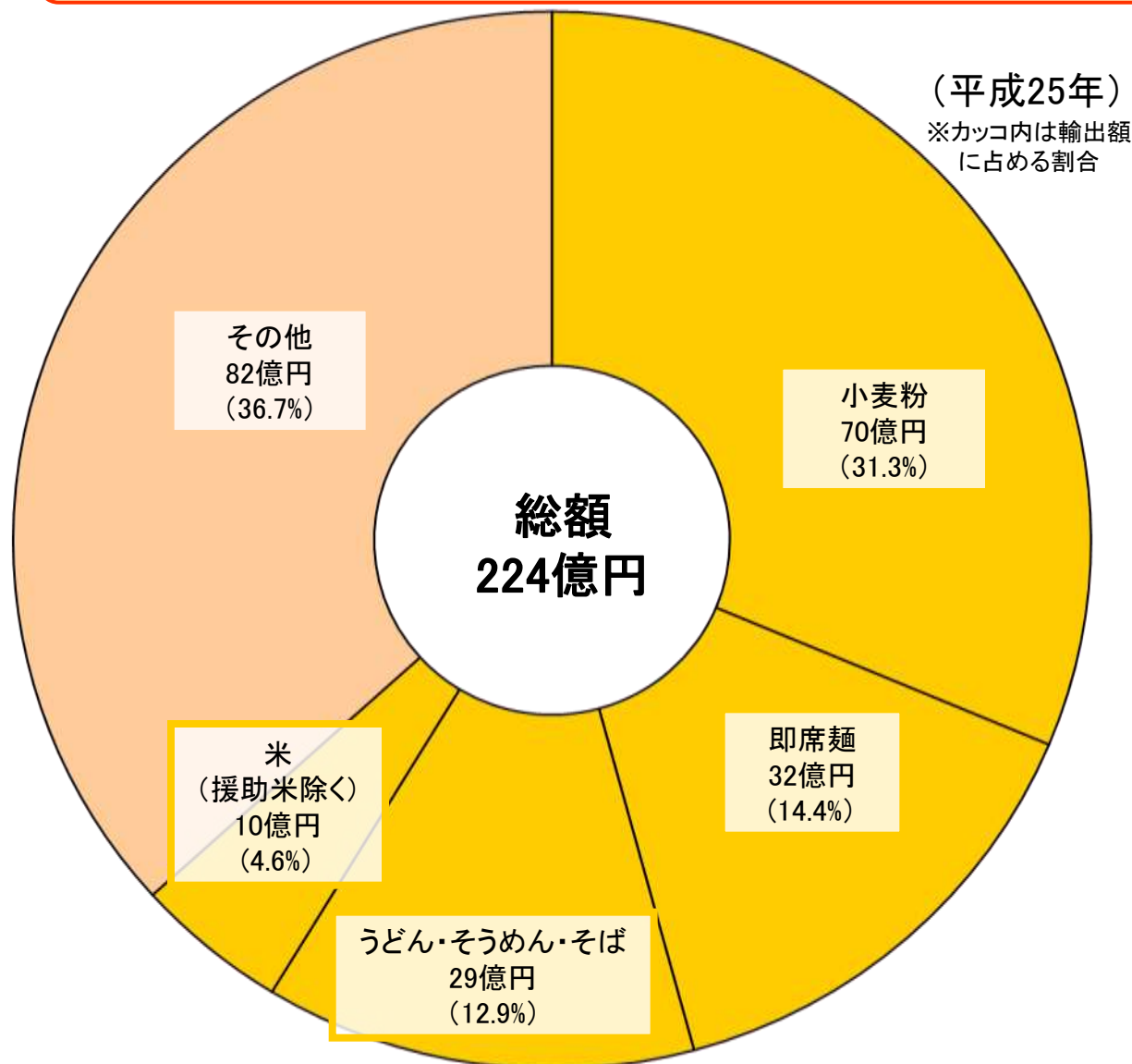




穀物等の品目別内訳

MAFF

- 穀物等の品目別内訳をみると、小麦粉、即席麺、うどん・そうめん・そばなどの割合が多い。



(単位: 億円)

品目名	平成24年	平成25年	増減率
小麦粉	58.7	70.2	19.6%
即席麺	25.3	32.4	28.0%
うどん・そうめん・そば	28.3	29.0	2.6%
米	27.9	17.7	▲36.6%
米 (援助米除く)	7.3	10.3	41.8%
その他	55.9	74.9	33.9%
穀物等計	196.2	224.3	14.3%

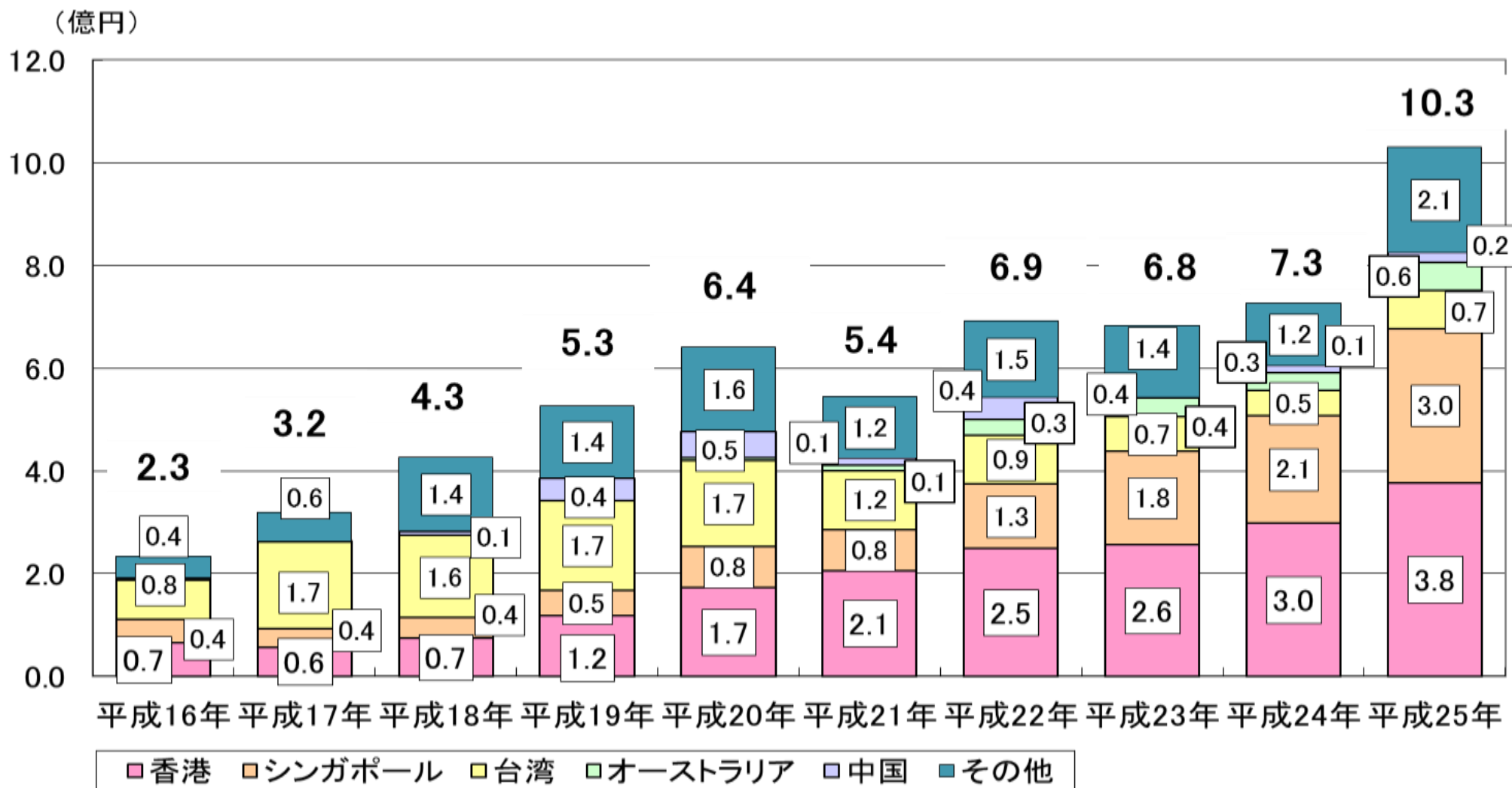
※小麦粉・・・用途は製菓用など。



米(援助米除く)の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- 援助米を除く、商業ベースの米の輸出額は、香港、シンガポールが牽引して増加傾向。





野菜・果実等の品目別内訳

MAFF

- 野菜・果実等の品目別内訳をみると、りんご、ながいもの割合が多い。

(平成25年)

※カッコ内は輸出額
に占める割合

(単位:億円)

総額
197億円

りんご
72億円
(36.3%)

果実
102億円
(51.8%)

野菜
29億円
(14.8%)

その他
66億円
(33.3%)

いちご
2億円
(1.2%)

かんしょ
3億円
(1.6%)

ながいも等
19億円
(9.6%)

くり
4億円
(1.8%)

うんしゅう
みかん
5億円
(2.7%)

桃
6億円
(2.9%)

なし
6億円
(3.1%)

ぶどう
7億円
(3.4%)

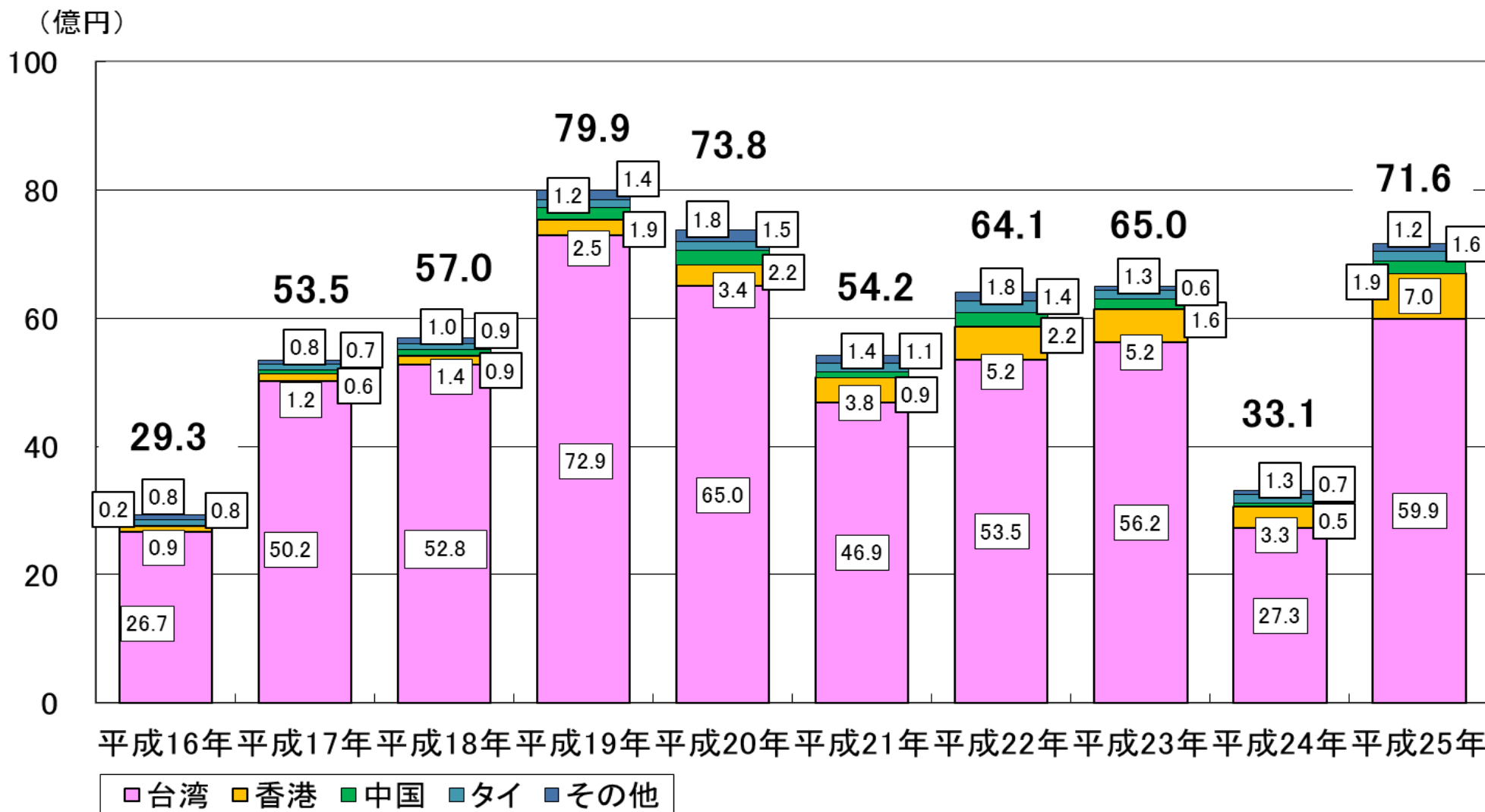
品目名	平成24年	平成25年	増減率
果実	55.1	102.2	85.6%
りんご	33.1	71.6	116.2%
ぶどう	4.0	6.7	66.2%
なし	5.0	6.2	23.7%
桃	3.8	5.8	51.7%
うんしゅうみかん	3.6	5.4	47.6%
くり	3.5	3.5	0.1%
柿	1.5	2.0	31.7%
野菜	23.9	29.2	22.4%
ながいも等	17.5	18.9	8.0%
かんしょ	1.7	3.1	85.0%
いちご	1.8	2.4	31.9%
メロン	0.7	1.0	51.8%
キャベツ	0.3	0.7	163.3%
だいこん等	0.1	0.3	134.8%
ナッツ	11.3	13.7	21.1%
果汁	8.1	10.1	24.9%
きのこ(はらたけ属除く)	3.1	4.1	31.7%
乾しいたけ	1.0	1.4	51.8%
その他	30.7	36.4	18.3%
果実・野菜等計	133.2	197.2	48.0%



りんごの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- りんごは果実輸出の主力産品であり、台湾における春節等での需要が中心。

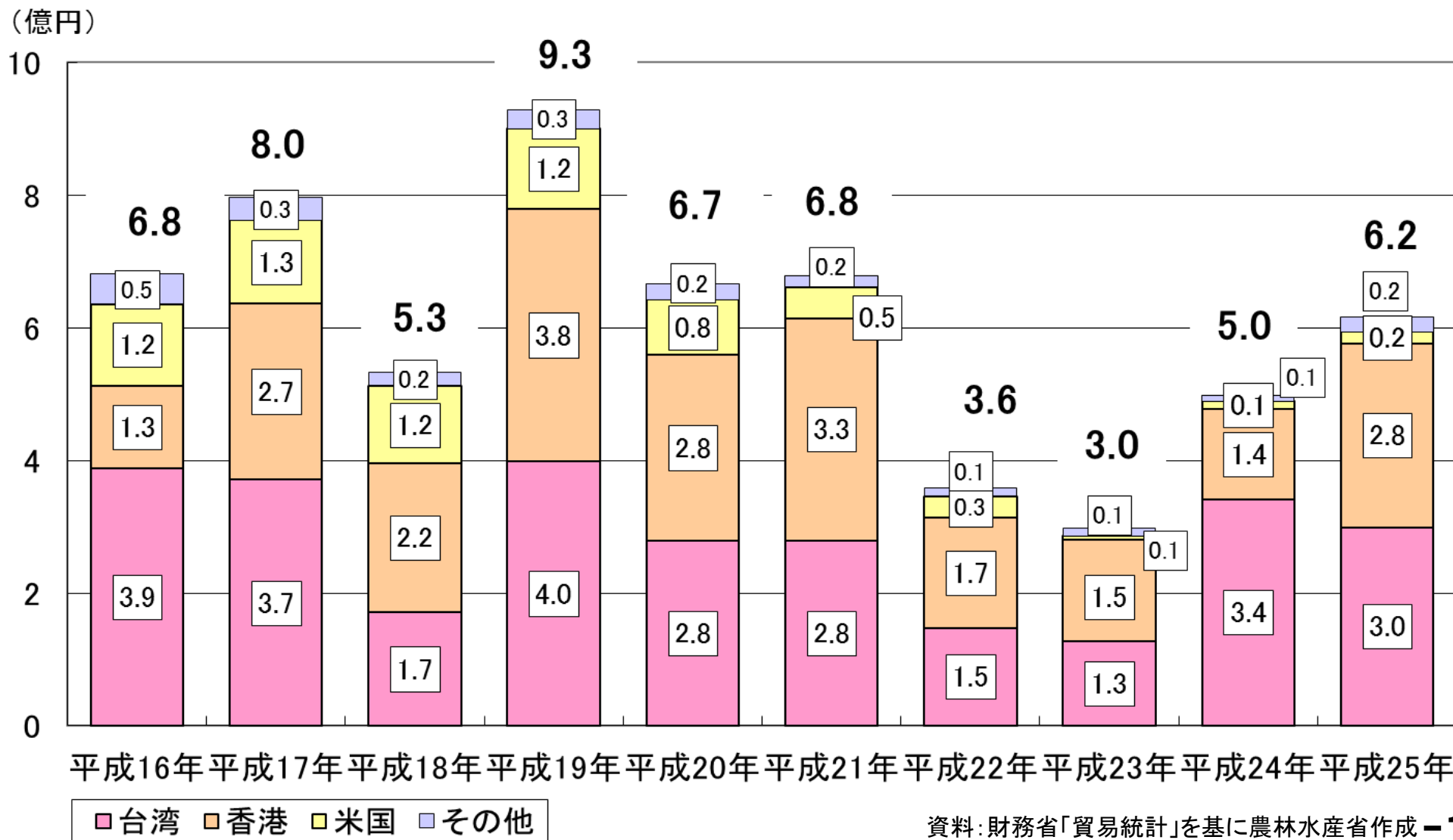




なしの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- なしは、主に台湾、香港向けの輸出が多い。

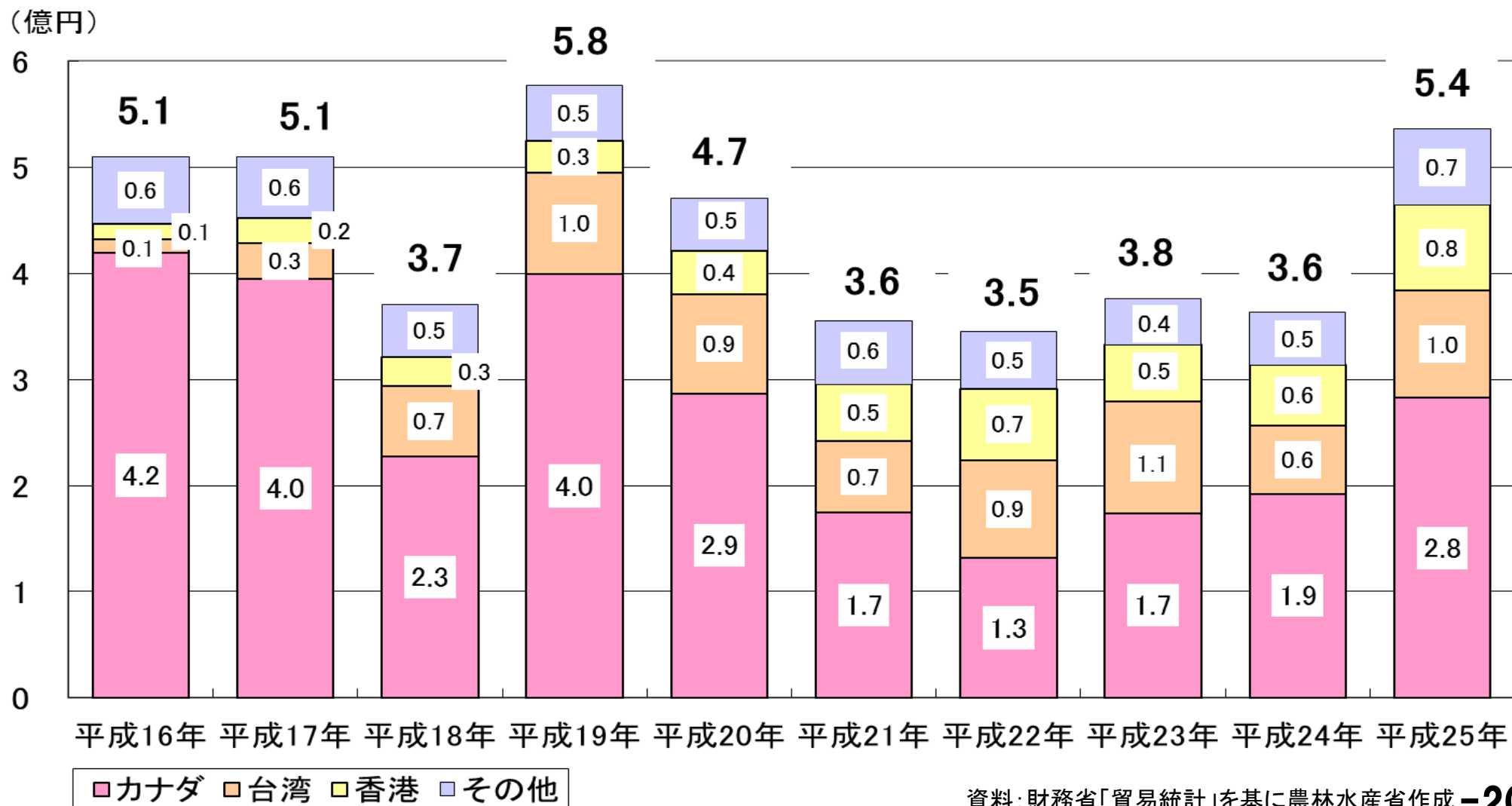




うんしゅうみかんの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- うんしゅうみかんの輸出額は、カナダ、台湾、香港向けが多い。



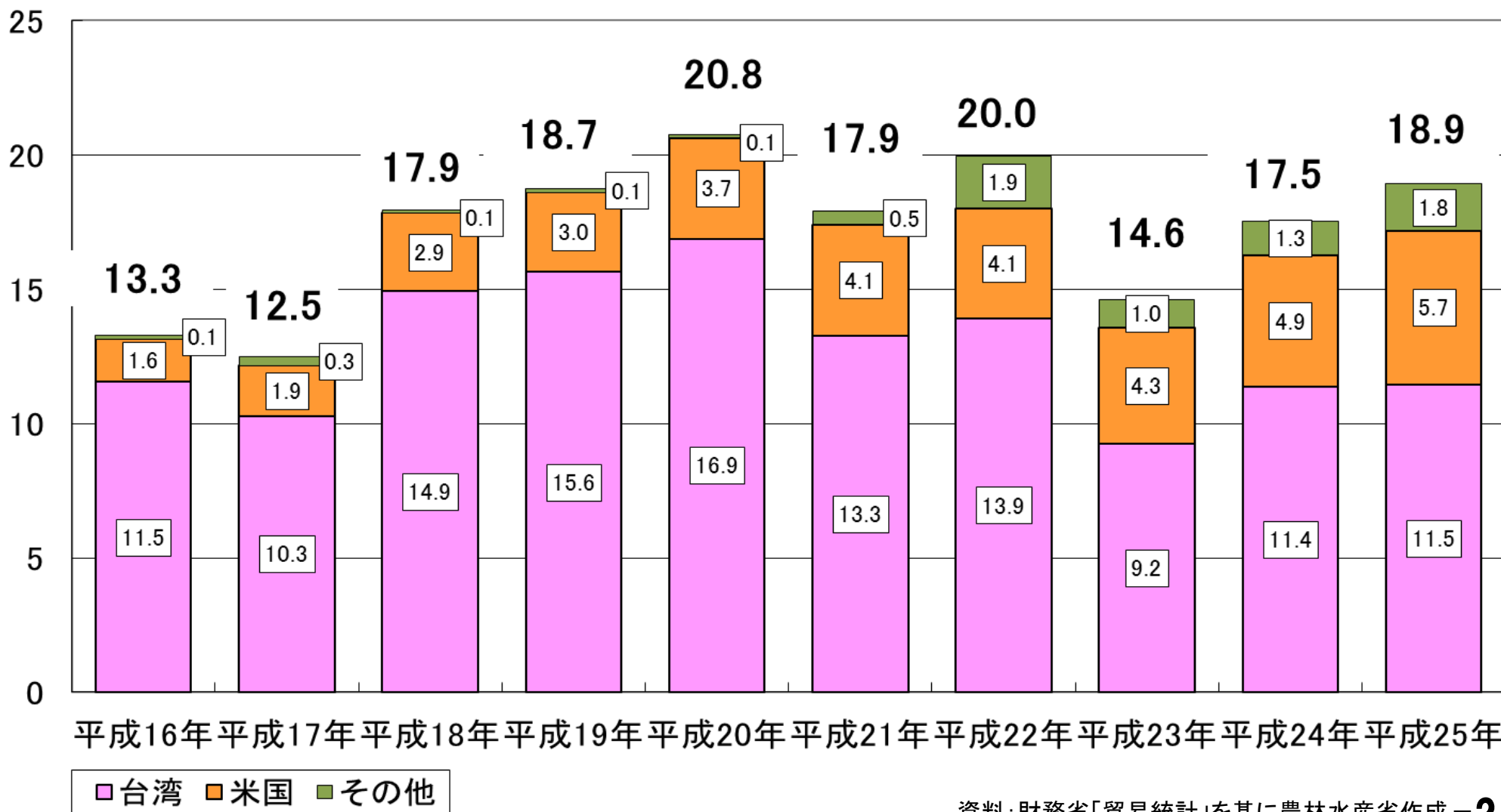


ながいも等の輸出額・輸出先国の推移

MAFF

- ながいも等は野菜輸出の主力産品であり、減少傾向にはあるものの台湾向けの輸出額が多い。

(億円)





いちごの輸出額・輸出先国の推移

MAFF

●いちごは、香港、台湾向けを中心に輸出。平成25年は香港向け輸出が過去最高を記録。

